



**GÜBER**

PRODUCED BY VESTAX

**COMPACT  
TURNTABLE**

# **CUBE-T CM-01**

ご注意:このプレーヤーはDJ専用機ではありません

# ごあいさつ

この度は、GÜBERコンパクトターンテーブル CUBE-T CM-01をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本機の性能を最大限に発揮するために、この取扱説明書をよくお読み下さるよう、お願い致します。

目次	取扱い上のご注意	2
	安全上のご注意	3
	本機の特長	4
	お使いになる前	4
	各部の名称	5
	組立て方	6
	接続と設置	7
	調整方	8
	ターンアーム取扱い上のご注意	9
	演奏のしかた	10
	ピッチコントローラーによる回転数の微調整	11
	故障かな?と思ったら	11
	保証とアフターサービスについて	12
	主な仕様	12

## 取扱い上のご注意

**針先やレコードに付着したほりやごみは、よく取り除いてください。**

針先にはほりやごみがついたまま演奏しますと、針先がレコード盤の音溝に正確に接触することができません。また、音質が悪化するだけでなく、レコード盤や針先の損耗が早まる恐れがありますので、お手入れはターンアームからシェルごと取りはずし、柔らかい穂先のハケか毛筆などで根元から針先に向かって、丁寧に取り除いてください。レコード盤も良質のレコードクリーナーでよくふいてください。

**シェル端子は時々ふいてください。**

シェルをターンアームからはずしておきますとシェル端子にはほりやごみがつき、接触不良を起こして雑音やハムを発生させる原因となります。また、音が出なくなる場合もありますので、柔らかい布などでシェル端子をふいてからシェルを取り付けてください。

**シェルを着脱する場合、アンプのボリュームを"0"にするか、アンプの電源を"OFF"にしてから行ってください。**

ボリュームをあげた状態でシェルの着脱を行いますと不愉快な音がするだけでなく、スピーカーをいためる恐れがあります。また、シェルを着脱する場合は針先保護のために針カバーをしてから行ってください。

**ハウリングとハムについて**

ハウリングは、スピーカーからの音や振動がプレイヤーに伝わり、それを再びカートリッジが拾い上げることによって生ずるものです。ボリュームを上げて、ウォーンというハウリングが発生するときは、スピーカーと本体との位置関係をチェックし、音や振動が本機に伝わらないように対策してください。ハムノイズは、他の電機製品から出る電磁波によるものです。本機周辺の電機製品では特にアンプとの位置関係をチェックしてください。

**転宅などで、遠くへ運ばれるとき**

購入時の包装材を用いて開梱のときと逆の方法で包装してください。包装材がないときでも、次のことは必ず行ってください。

- ・ターンテーブルマットとターンテーブルブラッターを抜き取り、傷のつかないように包装します。
- ・アームをアームレストに戻し、更にテープで結んで動かないようにしてください。
- ・バランスウェイトやシェル・カートリッジはアームから取り外し、傷のつかないように包装してください。
- ・本体は毛布や柔らかい紙等で傷のつかないように包装してください。

**電源について**

- ・雑音を発生する装置(モーター、調光器など)や消費電力の大きい機器とは、異なるコンセントを使用して下さい。
- ・接続する際は、誤動作、スピーカーなどの破損を防ぐため、必ず全ての機器の電源を切ってから行って下さい。

**設置について**

- ・この機器の近くにパワーアンプなどの大型のトランスを持つ機器があると、ハム(うなり)を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えて下さい。
- ・テレビやラジオの近くにこの機器を動作させると、テレビ画面に色むらが発生したり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用して下さい。

**お手入れについて**

- ・通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取って下さい。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きして下さい。
- ・変色や変形の原因となるベンジン、シンナー及びアルコール類は、使用しないで下さい。
- ・故障の原因となりますので、市販の接点復活剤・潤滑スプレーの中でも、シリコンオイル製のスプレーは使用しないで下さい。



**修理について**

- ・お客様が本機を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合がございます。
- ・当社では、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、6年間保有します。この部品保有期間を修理可能な期限とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げのお店または、当社商品の取扱店にご相談下さい。




**その他の注意について**

- ・スイッチ、つまみ、入出力端子等に過度の力を加えると、故障の原因となりますのでご注意ください。
- ・ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐ為に、プラグ自体(頭の部分)を持って行うようにして下さい。
- ・音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は音量に十分注意して下さい。



この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいますようお願い致します。

	<b>警告</b>	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	<b>注意</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物の損害のみ発生が想定される内容を示しています。




絵表示の例

 電源プラグをコンセントから抜け	 分解禁止	 指を挟まれないよう注意
● 記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。	○ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は分解禁止）が描かれています。	△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

 **警告**

 電源プラグをコンセントから抜け	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。</li> <li>● 万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</li> <li>● 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</li> </ul>
 水槽での使用禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。</li> </ul>

 **注意**

 電源プラグをコンセントから抜け	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。</li> <li>● 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。</li> <li>● 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にはこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。</li> <li>● ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。</li> <li>● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。</li> <li>● 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</li> <li>● 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。</li> <li>● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。</li> <li>● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。</li> <li>● 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。</li> </ul>

## 本機の特長

- 従来のレコードプレイヤーのレイアウトを一新し、置き場所を選ばないコンパクトな設計を実現しました。
- 重厚感溢れる5mm厚アクリルプラッターを採用しています。
- スタティックバランスストーンアームは、レコードの溝を確実にトレースし、安定した再生を保証します。
- ハイトルクダイレクトドライブモーターの採用により、起動トルク1.6kg・cmを実現。これにより、重量級ターンテーブルがわずか0.3秒（33 1/3rpm時）で立ち上がり、頭出しがタイミングよく行なえます。
- 連続可変ピッチコントロール方式を採用。極めて正確な回転精度を保ったまま±10%の範囲でピッチを連続的に可変させることができます。
- クォーツロックにはON/OFF切り替えスイッチを採用し、ピッチコントロールが0%に設定されていなくても、瞬時に定速回転に切り替わります。

## お使いになる前に

### 部品、付属品の確認

本機は一部の部品を取り外して包装しております。以下の部品が揃っているか確認してください。

本体

プラッター

ラバーマット

ヘッドシェル

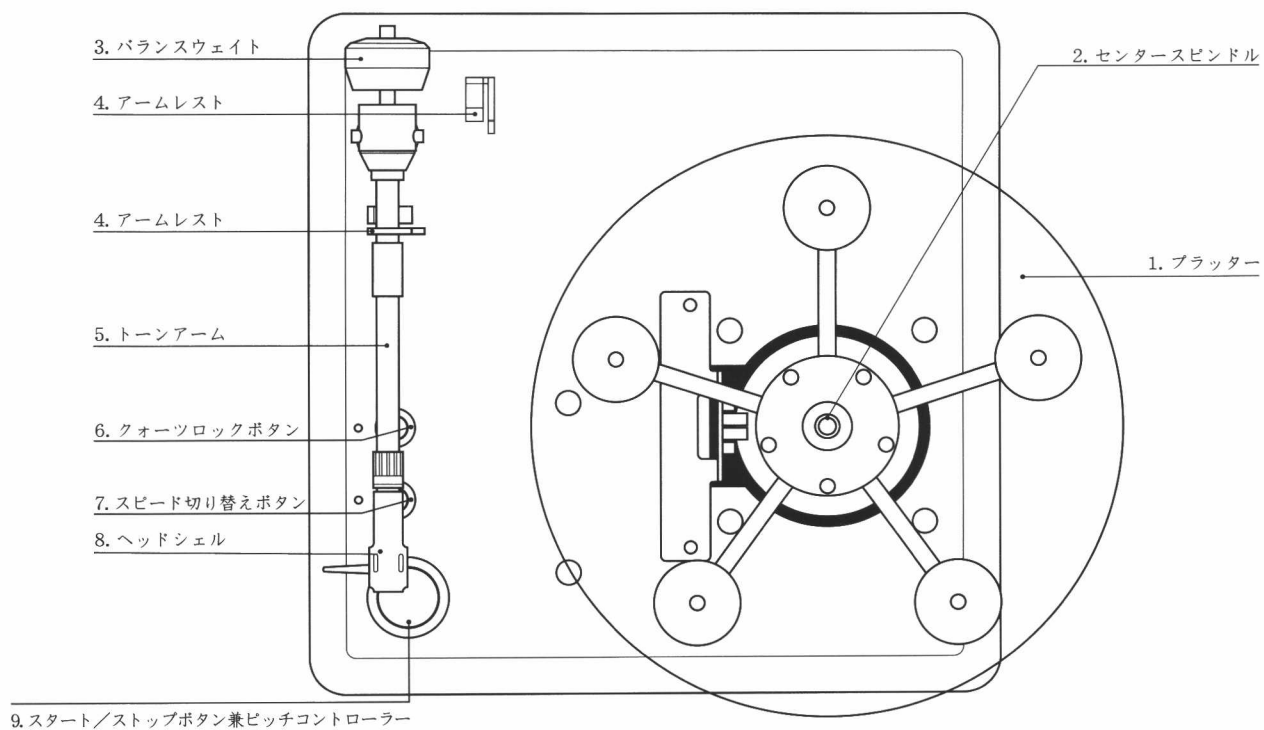
バランスウェイト

EPアダプター

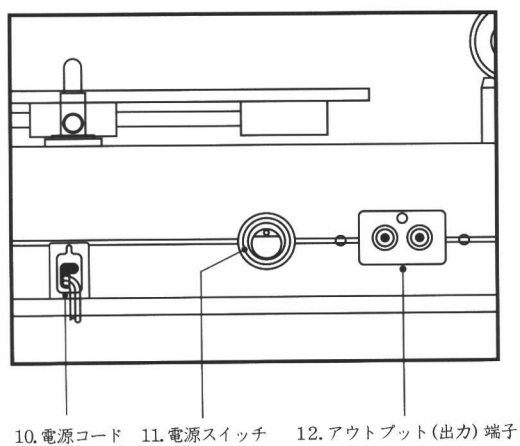
RCAケーブル

※カートリッジは別売りとなります。

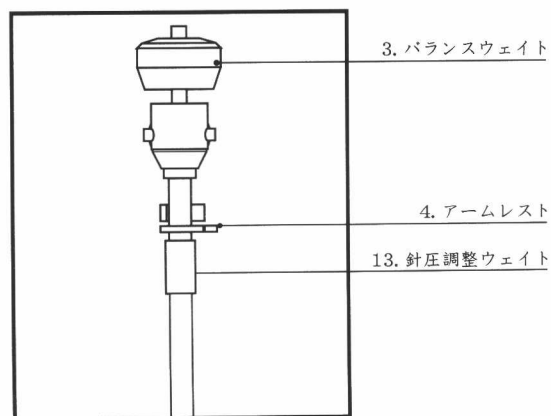
フロント部



リアパネル部



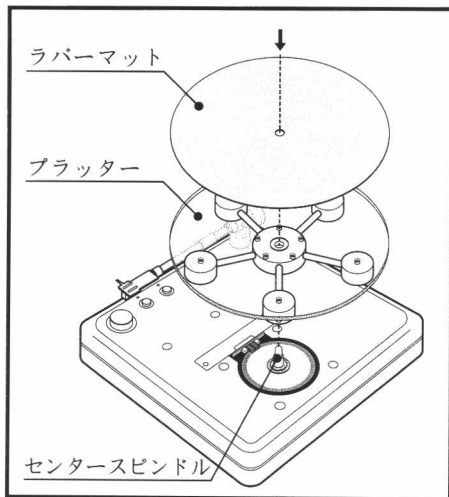
トーンアーム部



## 組立て方法

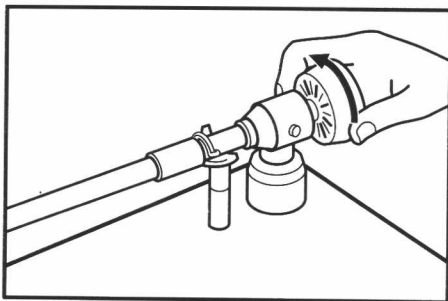
ご注意：組立て調整がすべて完了するまでは、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。  
プッタを取り付ける場合、本体に当てないようにご注意ください。

### 1. プッタの取り付け



- ① ターンテーブルをセンタースピンドルにはめ込みます。
- ② ラバーマットをのせます。

### 2. バランスウェイトの取り付け

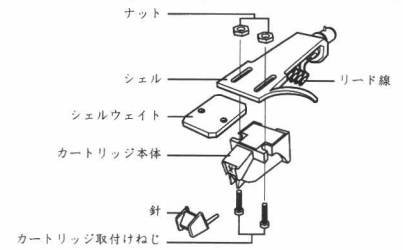


バランスウェイトをトーンアーム後方から入れ、正面から見て左回りの方向に廻して取り付けます。

### 3. カートリッジの取り付け

- ① カートリッジの取り付けは、右図を参考にして、ご使用の説明書に従って取り付けてください。取り付けの際は、ヘッドシェルの先端と平行にして取り付けます。
- ② カートリッジのリード線のL・R極性は以下のようになっています。

赤のリード線 R+  
白のリード線 L+  
緑のリード線 R-  
青のリード線 L-

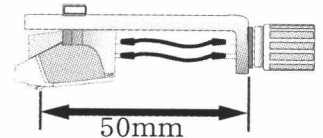


#### ※ご注意

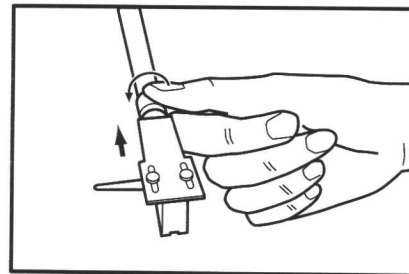
軽いカートリッジ (4~5g) を取り付ける場合は、シェルウェイト (別売り) をご使用ください。

- ③ カートリッジの取付け位置の調整をします。

右図のようにカートリッジの針先とヘッドシェルの根元との間の距離を50mm程度に調整してください。



- ④ トーンアームの前方にヘッドシェルを差込み、ヘッドシェルが固定されるまでロックリングを正面から見て左回りに廻します。



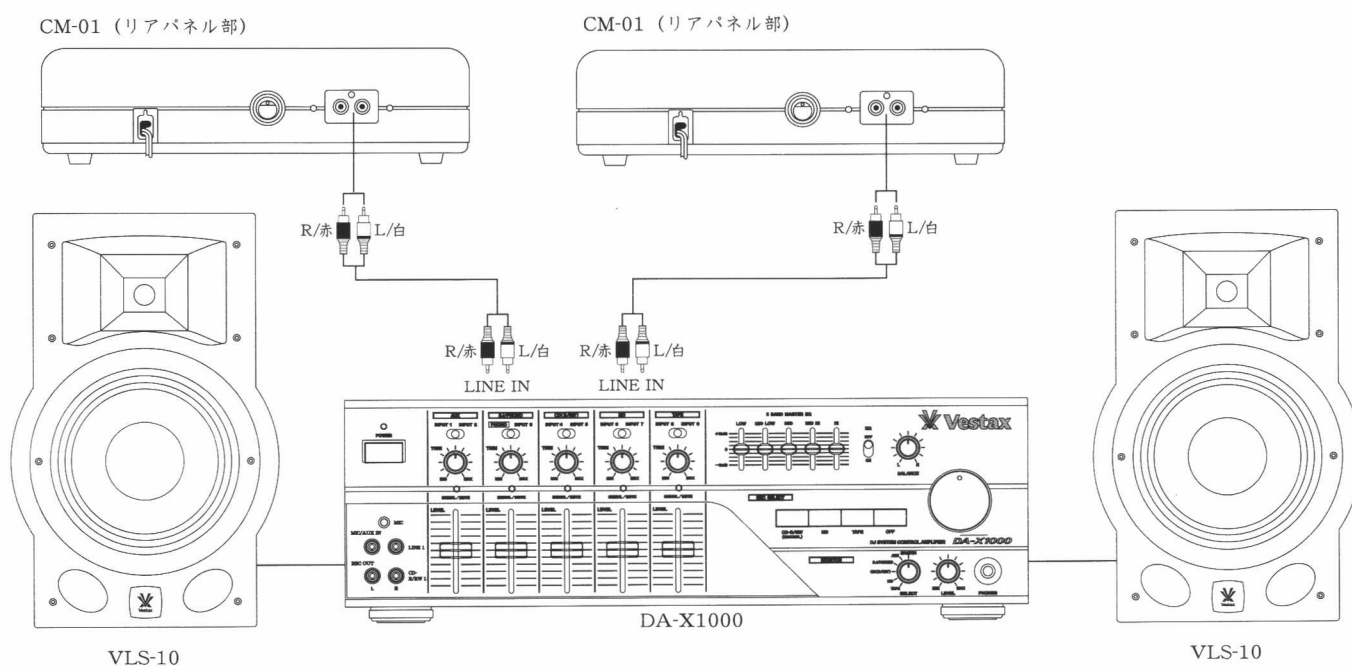
#### ※ご注意

カートリッジを前後に動かす際、針先が指やターンテーブルに触れて破損することのないように、慎重に行なってください。

## LINE端子の接続

本体リアパネルにあるアウトプット端子に付属のRCAケーブルを接続し、使用するアンプやオーディオミキサーのAUXまたはLINE入力端子に接続してください。

### 接続例



## プレイヤーの設置

外部振動を受けない、しっかりした水平な場所に設置してください。スピーカーシステムからできるだけ離して設置してください。直射日光、ほこり、湿気などの多い場所や、暖房器具の近くは避けてください。通風の良い場所を選んでください。ラジオ (FM/AM) を極端に近づけますと、ラジオに雑音が入る場合がありますので、できるだけ本機より離してください。

## 電源プラグの接続

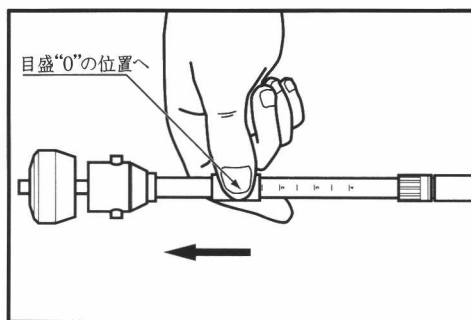
電源プラグをコンセントに接続します。

**※ご注意**  
 本機は交流 (AC) 電圧100Vでご使用いただくようになっています。100Vを超える電圧や直流 (DC) 電源には絶対接続しないでください。

## 調整方法

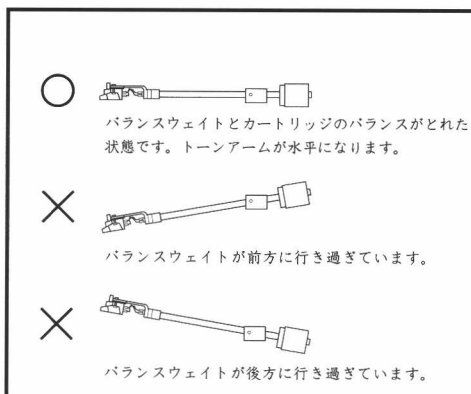
### 1. 水平（ゼロ） バランス調整

- ① トーンアームにヘッドシェル、バランスウェイトを取り付けます。
- ② トーンアームの針圧調整ウェイトを目盛"0"の位置に合わせます。
- ③ アームレストのロックを外し、バランスウェイトを廻しながらトーンアームが水平になるように調整します。
- ④ トーンアームをアームレストへ戻します。



#### ※ご注意

水平バランス調整をするときに、カートリッジの針先がブラッケーヤ本体に触れないように注意してください。

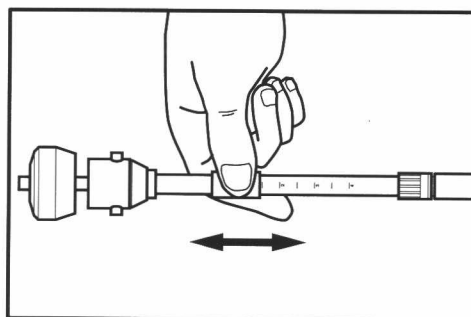


### 2. 針圧調整

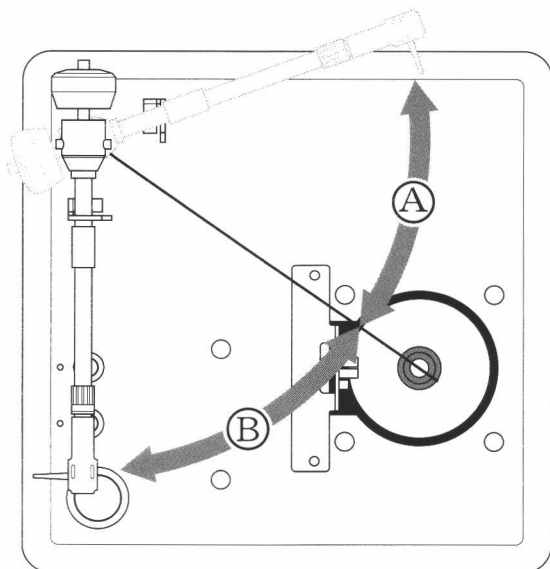
- ① 水平バランス調整後、トーンアームの針圧調整ウェイトをご使用のカートリッジ指定針圧値までスライドさせます。
- ※ 針圧は、4.0gまで加重できます。

#### ※ご注意

針圧を加えすぎると針飛びの原因となるばかりか、針先の寿命が短くなる恐れがありますので、適正針圧をご確認の上、正しくご使用ください。







※ご注意

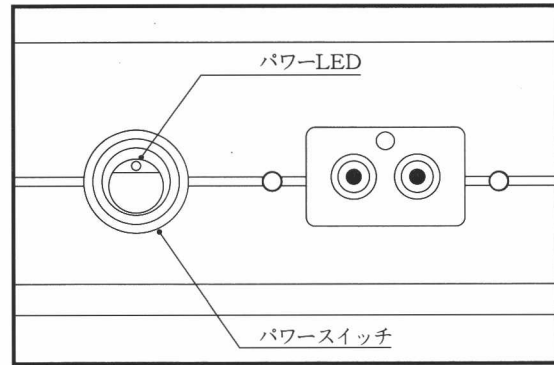
本機のトーンアームは回転しますが、2箇所あるアームレストの位置を越えて本機上外側に出て回転させますとアーム内部のケーブルの断線・故障の原因となりますので、左図の範囲 (A+B) 外には動かさないようにしてください。

再生時のご注意

レコードを再生される時に、左図の範囲 A 内でレコード盤上に針を置いてください。B の範囲に針を置きますと正しく再生されません。

## 演奏のしかた

- ① レコード盤をラバーマット上のにのせます。
- ② リア面に配置されたパワースイッチを押し電源をONにします。(電源ONで、パワースイッチのLEDが赤く点灯します。)
- ③ 針カバーをはずします。(カートリッジにより針カバーのないものもあります。)
- ④ スタート/ストップボタンを押し、回転させます。
- ⑤ 演奏するレコードの回転数をスピード切り替えボタンで33 1/3rpmか45rpmかを設定します。
- ⑥ トーンアームをレコード盤上に移動し、針先を静かにレコード盤に下ろします。
- ⑦ 演奏が終わりましたら、トーンアームをアームレストに戻します。また、針先保護のため針カバーをつけておいてください。
- ⑧ スタート/ストップボタンを押し、回転を停止させます。
- ⑨ パワースイッチを押し電源をOFFにしてください。

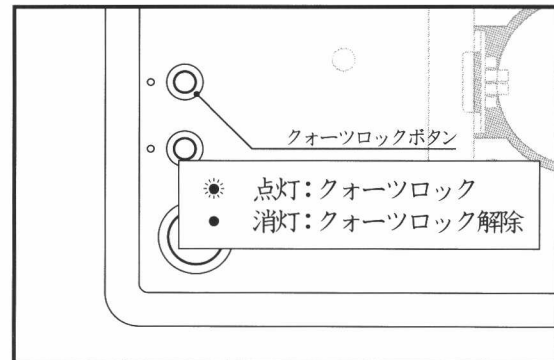
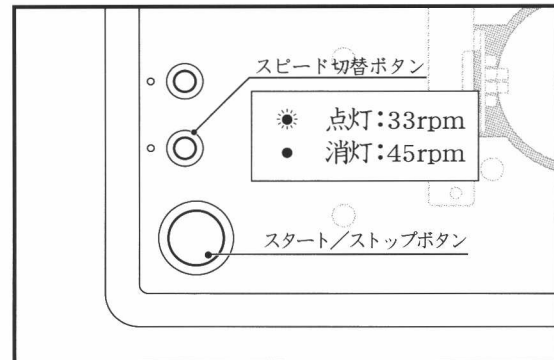


### ※ご注意

スタート/ストップボタンを押さずにパワースイッチをOFFにした場合、電子ブレーキは動きません。

## クォーツロックについて

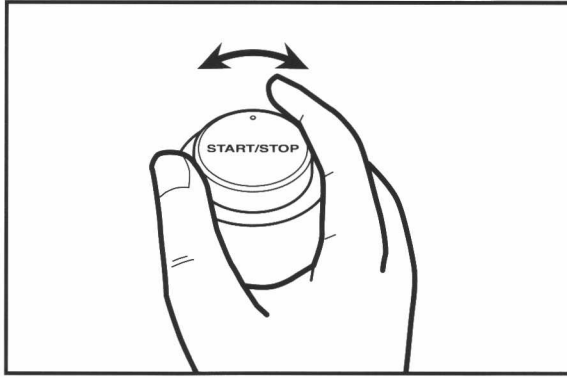
- ① クォーツロックインジケータが点灯している時に、規定の回転数(33 1/3rpm、45rpm)が得られます。
- ② クォーツロックボタンを押すと、クォーツロックインジケータが消灯し、クォーツロックが解除され、ピッチコントロールが可能な状態になります。
- ③ 規定の回転数(33 1/3rpm、45rpm)に戻したい時は、クォーツロックボタンを押すと、クォーツロックインジケータが点灯し、ピッチコントロールがどんな位置にあっても瞬時に規定の回転数(33 1/3rpm、45rpm)に戻ります。



## ドーナツ盤レコードを演奏する場合

付属のEPレコード用アダプターをセンタースピンドルに取付け、ドーナツ盤のレコードをEPアダプターにはめ込んでから演奏をはじめてください。

## ピッチコントローラーによる回転数の微調整



- ① ピッチを変えたいときには、クォーツロックボタンを押しランプが消えるのを確認してからピッチコントローラボタンを動かしてください。
- ② ピッチコントロールボタンの操作によりテンポを約±10%可変できます。センター位置(クリックポイント)で、0%になります。

## 故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出される前にもう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げになった販売店にご相談ください。

症状	考えられる原因	処置
電源が入らない。	電源プラグがはずれている。	確実に電源プラグを差し込む。
電源を入れても音が出ない。	各機器の接続が間違っていないか。	正しく接続する。
音が歪む。	レコードプレイヤー本体の出力をアンプ/オーディオミキサーのPHONO入力端子へ接続していませんか。	アンプ/オーディオミキサーのLINEまたはAUX入力端子へ接続し直す。
音量が小さい。	レコードプレイヤー本体に取りつけているカートリッジにMCタイプを使用していませんか。	カートリッジをMMタイプへ交換する。 (MCタイプを使用する場合はヘッドアンプが必要です。)
左右の音が逆になる。	各機器の接続が間違っていないか。	正しく接続する。
演奏中にブーンという低い音(ハム音またはバズ音)が入る。	接続コードの近くに蛍光灯などの電気器具や電源コードがありませんか。	蛍光灯または他の機器の電源コードをできるだけ離してみる。
ランブルノイズや低周波ハウリングが起こる。	レコードプレイヤー本体の近くにスピーカーがありませんか。	スピーカーをプレイヤー本体から離す。
針が飛んだり、横すべりする。	レコードプレイヤー本体が水平な場所に設置されていない。	水平な場所に設置する。
	針圧が正しくない。	正しい針圧に設定する。
	レコードが汚れているか傷がついている。	レコードをクリーニングするか他のレコードと交換する。
音が片方しか出ない。または全くでない。	ヘッドシェルがトーンアームに確実に取り付けられていない。	確実に取り付ける。
	ヘッドシェル内のカートリッジリード線がはずれている。	確実に接続する。
正常な音質が得られない。	針先にゴミがたまっているか消耗していませんか。	針先のゴミをレコード針専用のクリーニングブラシで取り除くか、針先を新品と交換する。
演奏スピードが正しくない。	回転数の設定が誤っていませんか。	レコードに記載されている回転数に合わせる。
ターンテーブルが回転しない。	電源プラグがはずれている。	確実に電源プラグを差し込む。

## 保証とアフターサービスについて (必ずお読み下さい)

### 保証書 (別添)

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。  
(保証期間：お買い上げの日から1年です。)

### 補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り6年ですこの期間は通産省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

### ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問合せください。

### 修理を依頼されるときは

異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。  
(保証期間中であっても、内容により有償となる場合があります。)

#### 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。  
保証書の規定に従って修理させていただきます。

#### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。  
見積りの必要な場合はあらかじめお伝えください。

お買い上げの日

お買い上げ店名

( ) -

## 主な仕様

●ターントーブル	モーター	DCサーボモーター
	スピードロック	クォーツロック
	モーター駆動方式	ダイレクトドライブ
	モーターブレーキ方式	電子ブレーキ
	モータースタート時間	0.5秒 (33 1/3 rpm) 70°
	モーター起動トルク	1.6 kg・cm
	スピード	33 1/3, 45 rpm
	ピッチ可変範囲	±10%
	ワウ&フラッター	0.03% W.R.M.S
	S/N比	78dB (ICE-98 WTD)
●トーンアーム	種類	スタティックバランス方式
	針圧調整範囲	0~4.0g
●その他	寸法 (W×H×D)	280×135×285mm (プラッター除く)
	重量	4.5kg (プラッター含む)
	電源	AC 100V 50/60Hz 61W

※仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

お問い合わせ先：ベスタクス株式会社 東京都世田谷区若林 1-18-6 〒154-0023  
TEL 03-3412-7011 FAX 03-3412-7013 Email info@vestax.jp URL www.vestax.jp